令和5年度「船上山スキルアップセミナー①②」実施報告書

I 事業の概要

|期日

スキルアップセミナー(1) 令和5年5月13日(土) スキルアップセミナー② 令和5年5月27日(土)



2 日 程

スキルアップセミナー① 5月 3日(土)		スキルアップセミナー② 5月27日(土)	
9:30	受付	9:30	受付
10:00	出会いのつどい	10:00	出会いのつどい
10:15	主催事業についての説明	10:15	交流レクリエーション
11:00	交流レクリエーション	10:45	ちっちゃい探検隊①について説明
12:00	昼食		・役割分担
12:45	館内オリエンテーリング	11:20	ナイト企画について
14:10	ニュースポーツ体験	12:00	昼食
15:35	子どもたちとの関わり方について	13:00	ナイト企画について
17:15	夕食	14:00	ちっちゃい探検隊①に向けての
18:00	ふりかえり		練習・準備
18:15	解散	17:30	夕食
		18:15	解散

3 ねらい

- ・学生たちが船上山少年自然の家の主催事業「ちっちゃい探検隊」 についての理解を深める。
- ・ちっちゃい探検隊へとつなげていくために、少年自然の家の様々な 活動プログラムを体験する。
- ・グループでの体験活動を通して、学生同士の親睦を深める。



スキルアップセミナー(1)18名

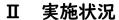
(島根大学11名、鳥取看護大学2名、鳥取短期大学1名、

鳥取環境大学 | 名、鳥取大学3名)

スキルアップセミナー②18名

(島根大学10名、鳥取看護大学3名、鳥取短期大学1名、

鳥取大学4名)



コロナの5類移行に伴う、島根大学の学生ボランティアの宿泊許可が、 スキルアップセミナーの募集期間に間に合わなかったため、スキルアップ セミナー①②は今年度も日帰りにて実施した。

【スキルアップセミナー①】

交流レクリエーション、館内オリエンテーリング、ニュースポーツを実際 に体験してもらい、学生同士の交流を深めることができた。今年度は、ちっ ちゃい探検隊へつなげることを意識して、子どもとの関わり方について話











し合い、ロールプレイを行う時間を確保した。話し合いでは、泣いている子 どもへの対応など実際に起きそうな場面について対応を考え、意見を交 換しあうことができた。ロールプレイでは、各班で考えた対応を発表するこ とで、考えを共有しあうことができ、充実した時間となった。

【スキルアップセミナー②】

スキルアップセミナー①から連続参加の学生11名以外に、新たなメン バーを7人迎えてスタートした。

はじめに、過去のスライドショーなどで、ちっちゃい探検隊①の説明を行 い、学生の役割分担を行った。ちっちゃい探検隊当日に参加できる学生 が9名しかいなかったが、役割分担は話し合って決めることができた。

今年度はちっちゃい探検隊①に向けて、ナイト企画の一部を学生のアイ デアで実施できるように話し合い活動を行った。令和元年までの学生企 画の時代に負けないくらい、熱い話し合いとなり、学生たちのエネルギー を感じたひとときとなった。この話し合いを持ったことで、当日参加できな い学生も他人事にすることなく達成感を得ることができ、当日参加する学 生は当日の活動に向けて、主体性を持つことにつながったのではないか と感じた。

Ⅲ 総括

| 参加者の感想(抜粋)

- ・班で話し合う活動を通して、思いつかないようなアプローチ方法が気 づけた点が良かった。間違いなく、今後の自分に良い影響を与えるセ ミナーだと実感した。(スキル①)
- ちっちゃい探検隊()は成功するように思えました。この船上山のスキル アップセミナーは自分だけでなく周りの仲間も一緒に成長できるの で、とても楽しいです。本番も頑張りたいです。(スキル②)
- ・たくさんの意見の中でブラッシュアップすること、折り合いをつけるの は大変だったが、企画を1から作ってみたいという気持ちが大きくなっ た。(スキル②)

2 成 果

- ・スキルアップセミナー①②とも、話し合い活動を設定したことで、学生 が主体的に取り組む姿が多くみられて良かった。
- ・学生が主体的に取り組む「ちっちゃい探検隊①」にするために、限ら れた時間の中で、学生の意識づくりができて良かった。

3 課題

- ・スキル①~③連続参加の学生が5人と、少ない状況。連続参加の学 生をより多く確保できるよう、募集方法を工夫改善する余地がある。
- ・次年度はスキルアップセミナーで学生企画を練り上げることができる ようにしたい。その実現に向けては、中心となる学生の存在が必要だ が、現状では中心となる学生の育成が十分ではない。年度末までに 学生のリピーターを増やし、次年度に向けて学生を育成することが課 題となる。



















